

## 《 資 料 編 》

### 1. 3章の部

#### 1. ERICとPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSについて

##### (1).ERIC

ERICは、アメリカ合衆国教育省のEducational Resources Information Centerが収集した教育資料のデータベースである。ERICには、(1)研究報告など雑誌論文以外の文献を扱う「Resources in Education」(RIE)、および(2)約750種の教育関連の雑誌および逐次刊行物を扱う「Current Index to Journal in Education」(CIJE)がある。どちらも冊子の形になっているが、DIALOG情報検索サービスによって検索することができる。RIEで取り扱われている文献に対してはEDで始まる番号が、CIJEで取り扱われている文献に対してはEJで始まる番号がつけられている。RIEには1966年以降から現在まで、CIJEには1969年より現在までの文献が収録されている。これらの資料には、著者名、文献名、情報源(雑誌名等)、抄録が含まれている。ここで取り扱われている文献すべては、例えば筑波大学学術情報処理センターから、文献全体を複写または、マイクロフィッシュで入手可能である。

##### (2).PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS

冊子の形では1920年代から、DIALOG情報検索サービスとしては1967年以降の心理学および精神医学・社会学・人類学・教育学・薬学・言語学などに関連する行動・社会科学における文献を収録している。DIALOGでは、PsycINFOデータベースという名前になっている。このデータベースの資料には、20カ国以上の世界各国で発行されている約1,300種の雑誌および技術報告から、心理学との関連性を基準に選ばれた文献が収録されている。またPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSからの全文献並びにDisseratation Abstracts Internationalおよびその他の情報源からの資料を収録している。PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS以外で取り扱われている文献については、10番代、20番代の番号が(例:24-06148)、PSYCHOLOGICAL ABSTRACTSで取り扱われている文献に対しては、それ以降の番号が初めにつけられている(例:75-25913)。ERICと同様に、これらの資料には、著者名、タイトル、情報源(雑誌名等)、抄録が含まれている。また、ここで取り扱われている文献すべては、例えば筑波大学学術情報処理センターから、文献全体を複写またはマイクロフィッシュの形で入手可能である。

##### (3).Thesaurus

ERICおよびPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSでは、これらの文献の中で取り扱われ、検索したり索引づけすることができる用語について、統制用語を定めている。これらの統制用語を収録しているのが、Thesaurusである。Thesaurusには、用語、基本的な定義、その用語の同義語、データベースの中でのキーワードとしての取り扱い(例:non-attendance at schoolはattendanceの中に含まれる)、広義の用語と狭義の用語、関連用語、その用語のデータベースでの登録年、Thesaurus発行年までのその用語を含む文献の収録総数などが記述されている。例えばschool refusalのようなThesaurusで取り扱われていない用語でもDIALOGデータベースでの検索は可能である。また冊子では、その末尾にThesaurusに用いられている用語については、その用語をキーワードとして含む文献を検索することができる。ERICとPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSは、年末に発行されるインデックス一覧で、Thesaurusの用語をキーワードに含む、それぞれの年に出された文献の検索ができる。

なお、最近の文献については、これらの用語に基づいて、四半期毎に出されるCD-ROMによっても検索が可能になっている。

### 2. truancyの英英辞典での取り扱いとの関連

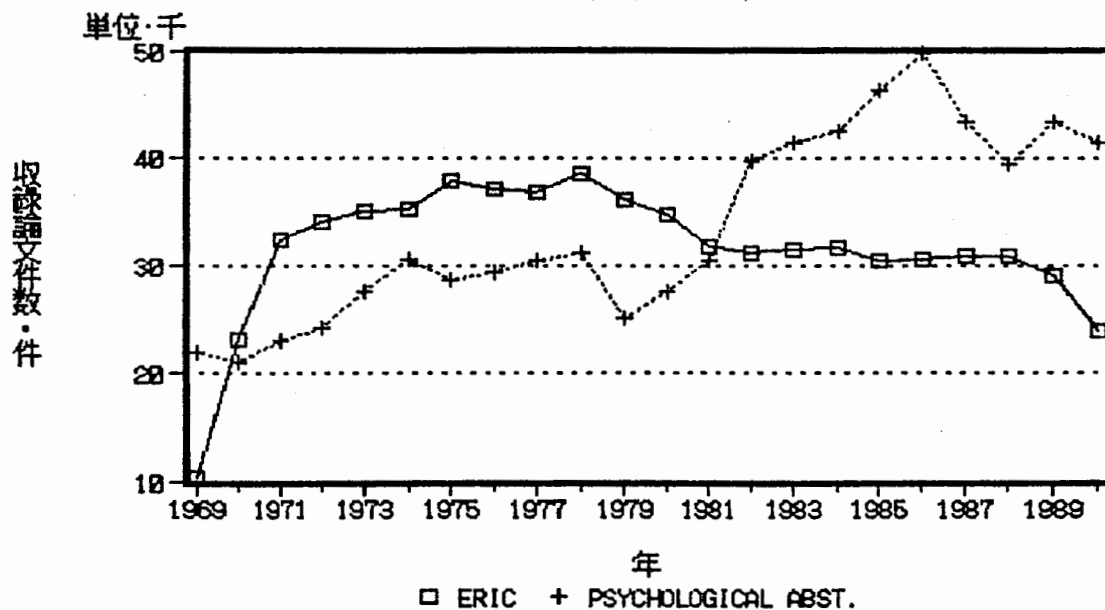
“The Random House Dictionary of The English Language”では、truancyを1.the act of being truant.2.an instance of being truant.としているので、truantを見ると、1.a student who stays away from school without permission.となっており、PSYCHOLOGICAL ABSTRACTSのNOTEと同様の意味付けをしている。2.において、a person who shirks or neglects his or her duty.という意味があり、ここから形容詞的用法として、neglectful of duty or responsibility; idleという意味があり、「怠け」に結びつく。

また、“COLLINS COBUILD ENGLISH LANGUAGE DICTIONARY”では、truantを1.として、A truant is a pupil who stays away from school when he or she should be there.としている。また2.として、If a child plays truant, he or she stays away from school without permission.としている。

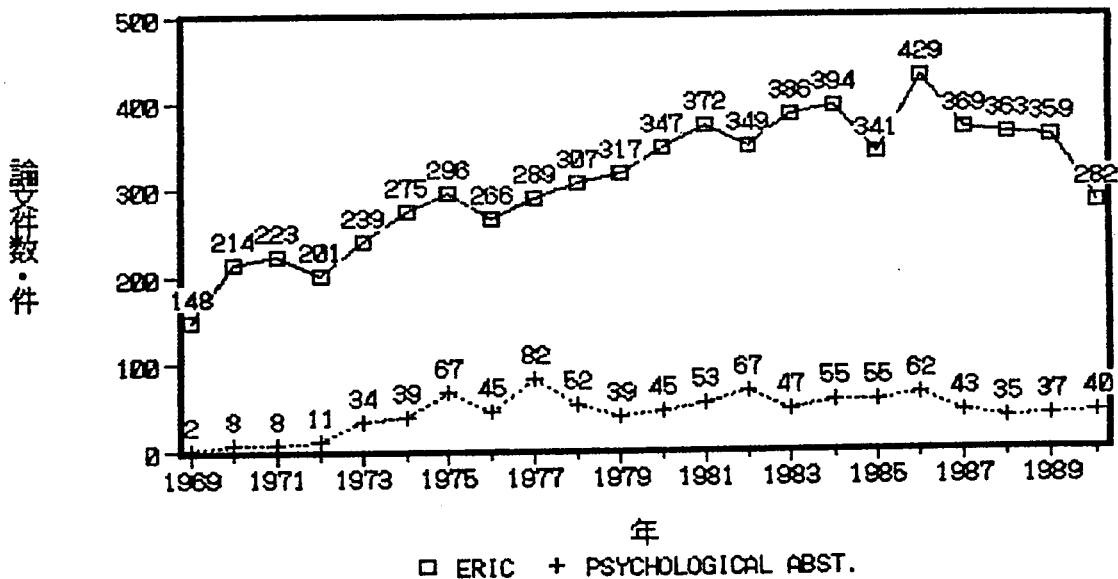
“CHAMBERS ENGLISH DICTIONARY”では、truantに対して、one who, idly or without excuse, absents himself from school.としている。これらのことから、英語圏では、PSYCHOLOGICAL ABSTRACTSのNOTEから考えられる無断欠席の日本語訳と合わせて怠学の日本語訳の意味にも用いられていることを付記しておく。

### 3. ERIC及びPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSにおける各年毎の収録論文件数、並びに関連用語の論文件数の年毎推移

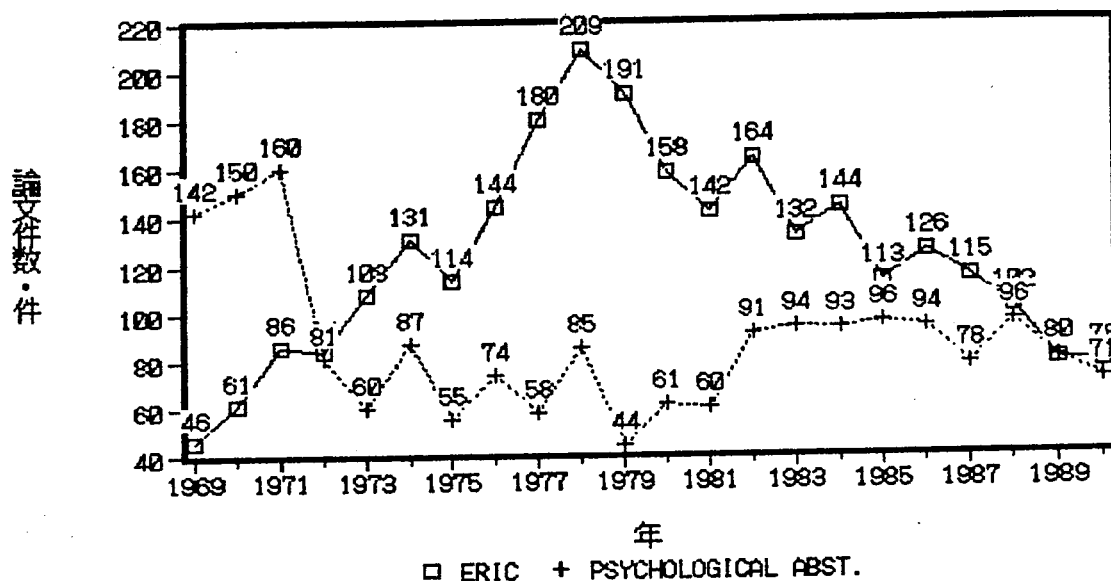
はじめに図、その後に表を以下で示すことにする。なお、PSYCHOLOGICAL ABSTRACTSは、表において、PSYCHOLOGICAL ABSTRACTSとはせず、P.A.と略記する。



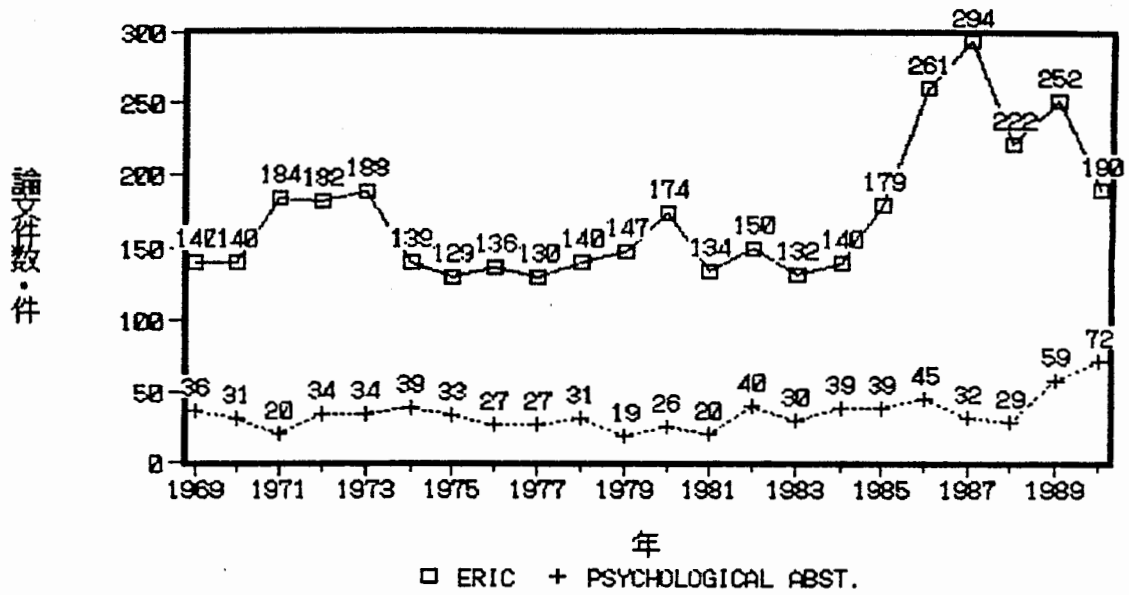
3-1図：ERIC及びPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSにおける各年毎の収録論文件数



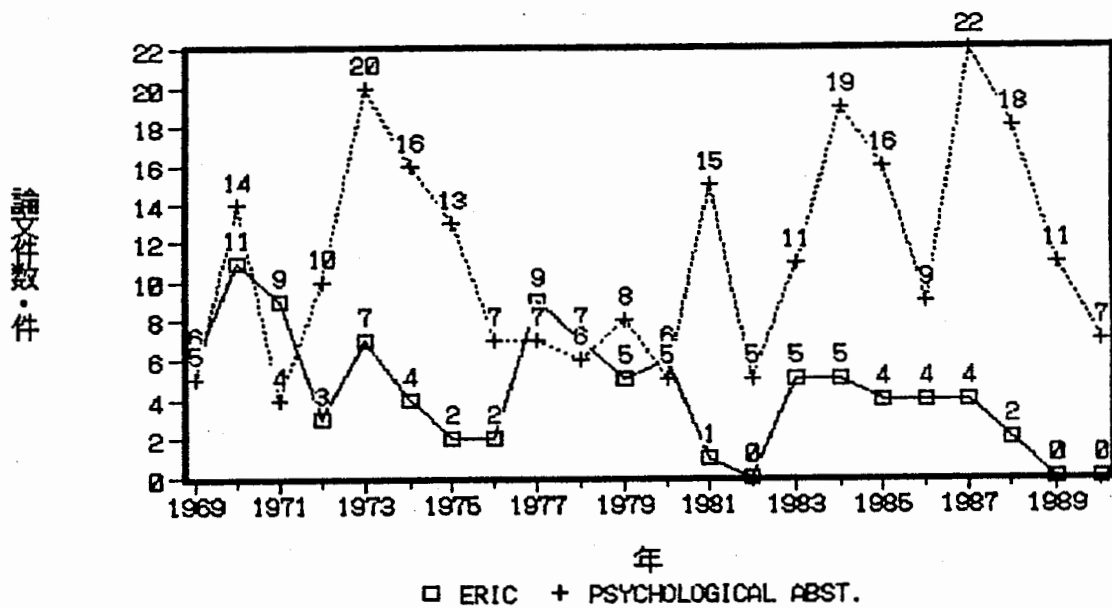
3-2図： attendance(school attendance)に関する論文件数の年毎推移



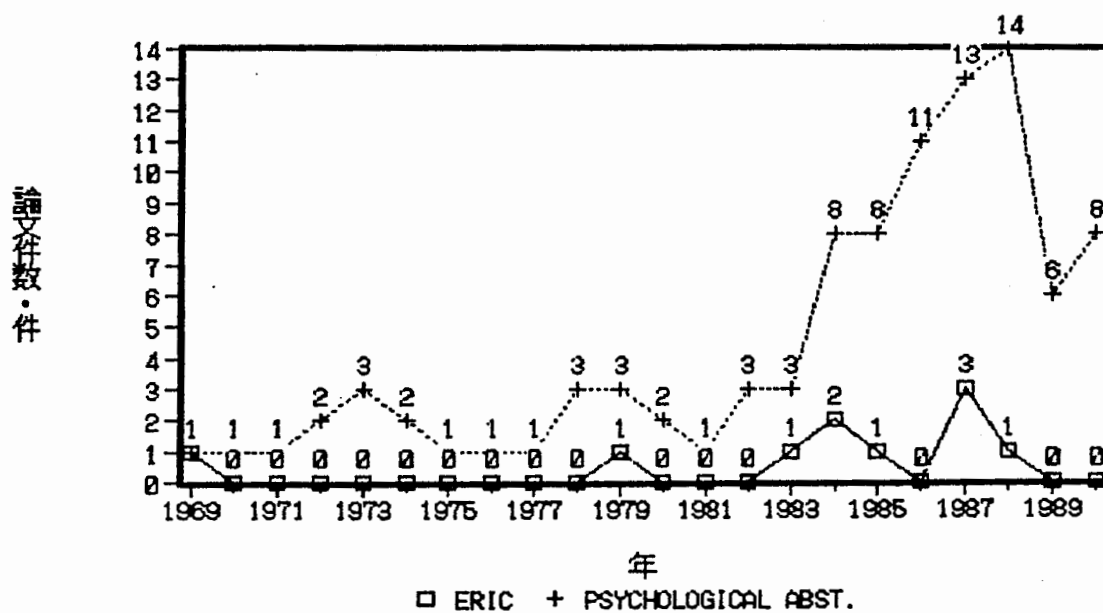
3-3図： delinquency(juvenile delinquency)に関する論文件数の年毎推移



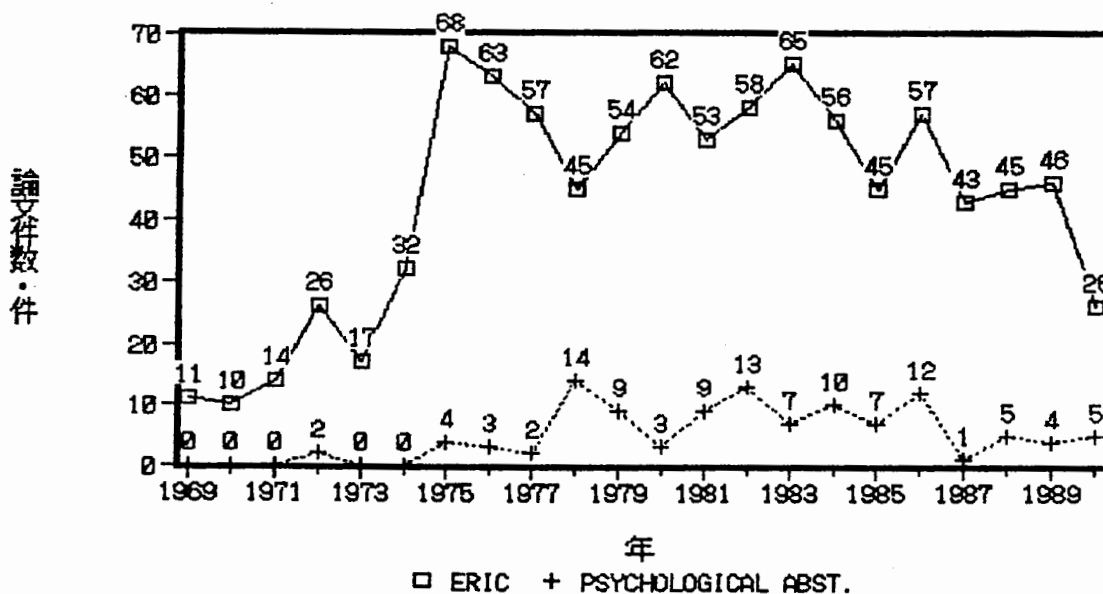
3-4図： dropouts(school dropouts)に関する論文件数の年毎推移



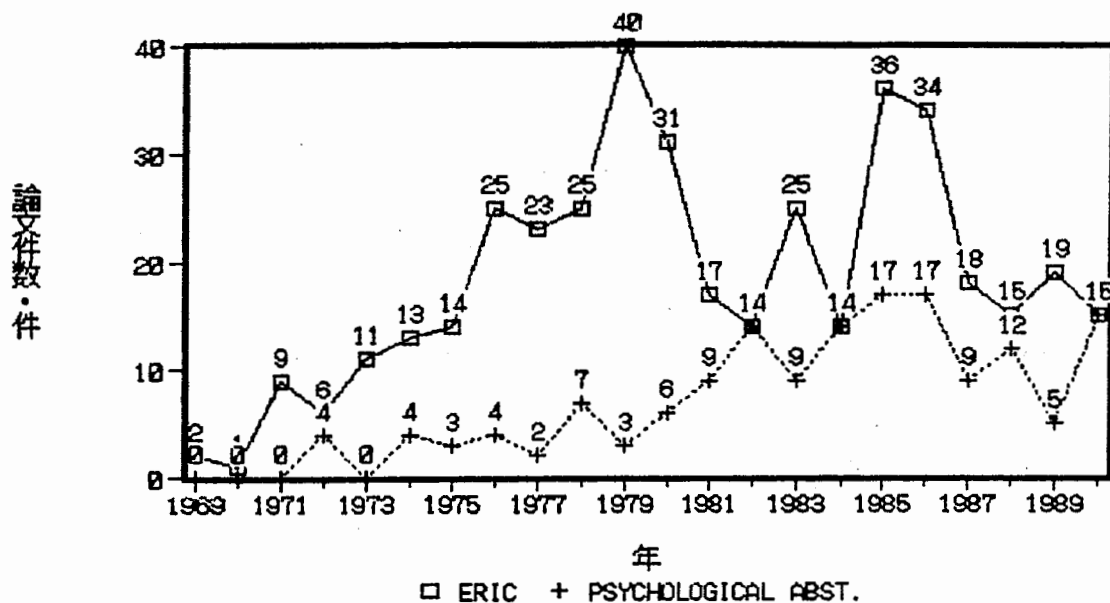
3-5図： school phobiaに関する論文件数の年毎推移



3-6図： school refusalに関する論文件数の年毎推移



3-7図： school suspension(suspension)に関する論文件数の年毎推移



3-8図： school truancy(truancy)に関する論文件数の年毎推移

3-1表： ERIC及びPSYCHOLOGICAL ABSTRACTSにおける各年毎の収録論文件数

年	ERICの収録論文件数	P.A.の収録論文件数
1969	10,409	21,944
1970	23,107	21,005
1971	32,354	23,033
1972	33,863	24,217
1973	34,931	27,500
1974	35,088	30,445
1975	37,741	28,628
1976	37,042	29,395
1977	36,680	30,355
1978	38,454	31,083
1979	35,964	25,024
1980	34,686	27,580
1981	31,757	30,326
1982	31,113	39,637
1983	31,441	41,454
1984	31,537	42,437
1985	30,322	46,297
1986	30,499	49,910
1987	30,748	43,342
1988	30,817	39,429
1989	29,063	43,414
1990	23,872	41,397

3-2表: ERICのattendance(school attendance)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
148	214	223	201	239	275	296	266	289	307	317
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
347	372	349	386	394	341	429	369	363	359	282

(計:7215件)

3-3表: P.A.のattendance(school attendance)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
2	8	8	11	34	39	67	45	82	52	39
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
45	53	67	47	55	55	62	43	35	37	40

(計:932件)

3-4表: ERICのdelinquencyに関する論文件数の年毎推移

ERIC; 2916件

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
46	61	86	84	108	131	114	144	180	209	191
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
158	142	164	132	144	113	126	115	102	79	78

(計:2,916件)

3-5表: P.A.のdelinquencyに関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
142	150	160	81	60	87	55	74	58	85	44
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
61	60	91	94	93	96	94	78	96	80	71

(計:1,990件)

3-6表: ERICのdropouts(school dropouts)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
140	140	184	182	188	139	129	136	130	140	147
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
174	134	150	132	140	179	261	294	222	252	190

(計:4,254件)

3-7表: P.A.のdropouts(school dropouts)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
36	31	20	34	34	39	33	27	27	31	19
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
26	20	40	30	39	39	45	32	29	59	72

(計:775件)

3-8表: ERICのschool phobiaに関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
6	11	9	3	7	4	2	2	9	7	5
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
6	1	0	5	5	4	4	4	2	0	0

(計:103件)

(次ページへつづく)

3-9表: P.A.のschool phobiaに関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
5	14	4	10	20	16	13	7	7	6	8
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
5	15	5	11	19	16	9	22	18	11	7

(計:252件)

3-10表: ERICのschool refusalに関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
0	0	0	1	2	1	0	3	1	0	0

(計:12件)

3-11表: P.A.のschool refusalに関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
1	1	1	2	3	2	1	1	1	3	3
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
2	1	3	3	8	8	11	13	14	6	8

(計:97件)

3-12表: ERICのschool suspension(suspension)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
11	10	14	26	17	32	68	63	57	45	54
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
62	53	58	65	56	45	57	43	45	46	26

(計:977件)

3-13表: P.A.のschool suspension(suspension)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
0	0	0	2	0	0	4	3	2	14	9
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
3	9	13	7	10	7	12	1	5	4	5

(計:110件)

3-14表: ERICのschool truancy(truancy)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
2	1	9	6	11	13	14	25	23	25	40
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
31	17	14	25	14	36	34	18	15	19	15

(計:425件)

3-15表: P.A.のschool truancy(truancy)に関する論文件数の年毎推移

1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979
0	0	0	4	0	4	3	4	2	7	3
1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
6	9	14	9	14	17	17	9	12	5	15

(計:154件)